

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称 うるおいの大地）」は、このたび、第8期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末(2019年2月14日)

基準価額	10.227円
純資産総額	914百万円
第8期	
騰落率	0.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

為替ヘッジ付ソブリン／ 農業関連オープン (愛称 うるおいの大地)

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2018年8月15日～2019年2月14日

交付運用報告書

第8期（決算日 2019年2月14日）

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

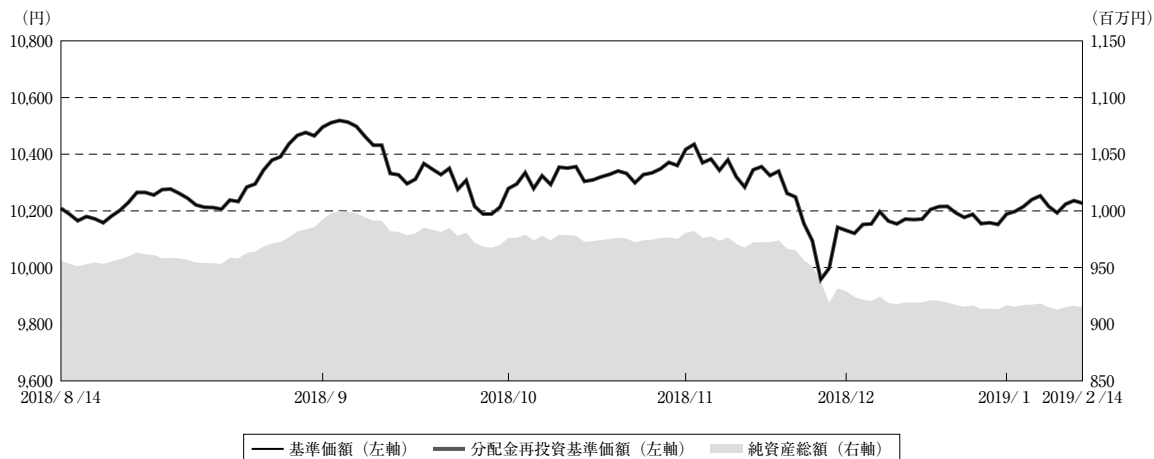
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2018年8月15日～2019年2月14日）



期 首：10,209円

期 末：10,227円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率： 0.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2018年8月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・ドイツ国債、カナダ国債、米国債の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

○農業関連日本株マザーファンド

・宝ホールディングス、日産化学、キッコーマンなどの株価が上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・特にありません。

○農業関連日本株マザーファンド

・アグロ カネショウ、クミアイ化学工業、アサヒグループホールディングスなどの株価が下落したことがマイナスに影響しました。

保有していたInvesco DB Agriculture Fund（ETF）の価格（円換算後）が値下がりしたことがマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

（2018年 8 月15日～2019年 2 月14日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 44 (17) (25) (2)	% 0.425 (0.163) (0.245) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	2 (2)	0.015 (0.015)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (2) (1) (0)	0.029 (0.021) (0.007) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合計	49	0.469	
期中の平均基準価額は、10,298円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

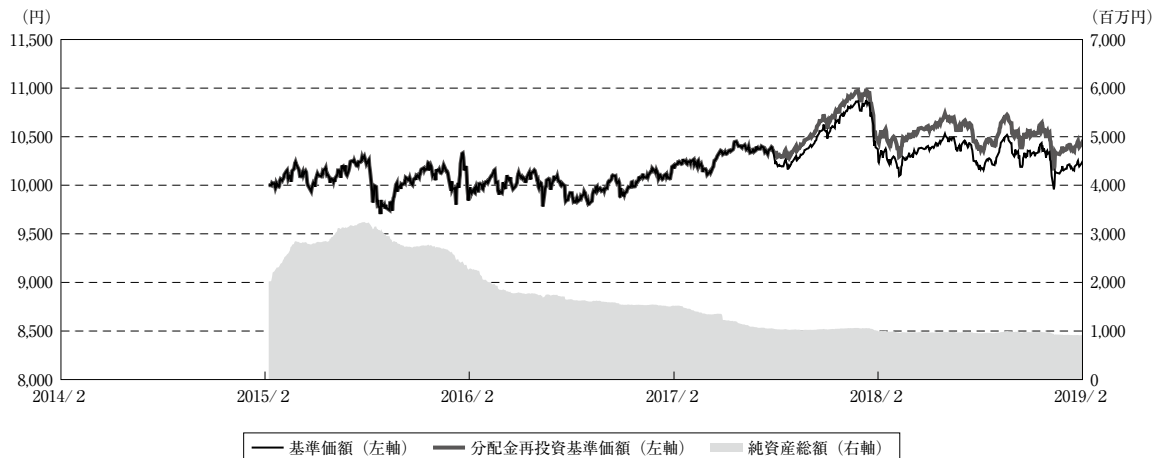
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年2月14日～2019年2月14日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2015年2月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年2月23日 設定日	2016年2月15日 決算日	2017年2月14日 決算日	2018年2月14日 決算日	2019年2月14日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,978	10,174	10,242	10,227
期間分配金合計(税引前) (円)	－	0	0	200	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	△0.2	2.0	2.6	△0.1
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)騰落率 (%)	－	2.1	△1.6	△0.1	1.6
東証株価指数(TOPIX)騰落率 (%)	－	△13.9	19.1	10.6	△6.6
純資産総額 (百万円)	2,018	2,291	1,517	991	914

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年2月15日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（TOPIX）は当ファンドの参考指数です。設定日の東証株価指数（TOPIX）は設定日前営業日の終値を採用しています。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

（2018年8月15日～2019年2月14日）

債券市場は、欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁の発言を受けて利上げの時期が早まるとの観測や、米連邦準備制度理事会（FRB）が2018年9月に利上げを実施し、今後も金融政策の正常化を進めることが意識されたことなどから、10月上旬にかけて主要国の債券利回りが上昇しました。その後は、FRBによる利上げ打ち止め観測や、世界的な景気減速懸念、欧州の政治不安などを受けて、主要国の債券利回りが低下基調を辿りました。

国内株式市場は、米中貿易摩擦の激化に伴う世界経済の悪化が意識され、投資家のリスク回避の姿勢が強まったことから、2018年12月下旬にかけて下落しました。期末にかけては、米国の利上げ観測が後退し米国経済に対する先行き不透明感が和らいだことなどから、持ち直す動きとなりました。

農産物市場は、小幅に下落しました。世界的な豊作を受けて小麦やトウモロコシなど主要穀物の価格が下落しました。また、主産地であるブラジルの豊作などを背景に砂糖やコーヒー豆といった熱帯作物も下落しました。一方で大豆は、米中貿易交渉の進展期待から、中国が米国産の関税を引き下げるとの観測が拡がり、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年8月15日～2019年2月14日）

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ETF）の組入比率の合計が40％程度となるように組入れを行いました。

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」では、米国債やカナダ国債の組入比率を引き下げ一方、欧州国債の組入比率を引き上げました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分の調整を行い、当期間におきましては中長期ゾーンの比率をやや高めとしました。

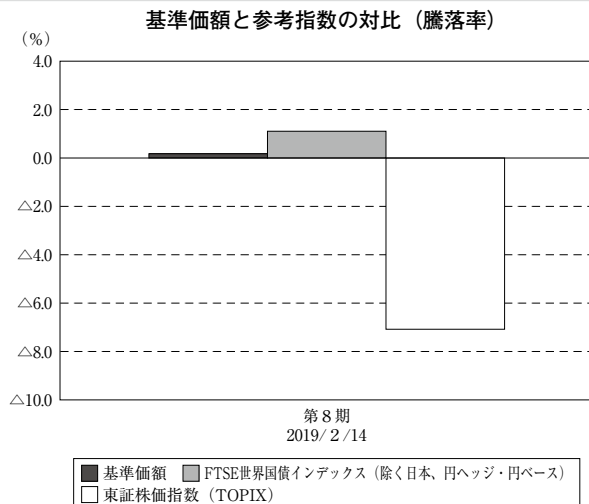
「農業関連日本株マザーファンド」では、新興国の所得水準の向上に伴い野菜種子の売上拡大が見込まれる農業関連銘柄などの高位組入れを維持しました。

ETFにつきましては、Invesco DB Agriculture Fundの組入れを継続しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月15日～2019年2月14日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（TOPIX）です。

分配金

（2018年8月15日～2019年2月14日）

当ファンドは、毎年2月14日および8月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額として、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧案のうえ決定します。

この基本方針に則り、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第8期
	2018年8月15日～ 2019年2月14日
当期分配金 （対基準価額比率）	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	740

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

債券市場については、世界的に景気減速懸念が強まる中、F R Bなど先進国の中央銀行が金融政策の正常化を慎重に進める姿勢を示している一方、米中通商協議や英国の欧州連合（E U）離脱交渉の進展期待などを背景に、利回りがレンジ内でもみ合う展開を予想します。

国内株式市場は、底堅い展開が想定されます。これまで株式市場の下落要因となっていた世界的な景気減速に対する懸念については、株式市場に概ね織り込まれたと考えられます。また、株価下落に伴いバリュエーション面での割安感も強まっていることから、米中貿易摩擦などの悪材料が徐々に払拭されていくことにより、国内株式市場は戻り歩調で推移すると思われる。

農産物市場は、上値の重い展開が続くと考えます。米国をはじめ主要な農産物輸出国では豊作が続いており、在庫は高水準で推移しています。また、原油価格の下落により、バイオエタノールなどの代替燃料に対する需要も伸び悩みが予想され、農産物は全般的に需給の緩んだ状態が継続すると考えます。

（運用方針）

＜為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称 うるおいの大地）＞

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指すE T Fの組入比率の合計が40％程度となるように運用を行っていく方針です。なお、E T FにつきましてはInvesco DB Agriculture Fundの組入れを維持する方針です。

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

国別投資比率については、米国債の比率を引き下げ、欧州国債ヘシフトさせる方針です。また、利回りが低下する局面では、期間が長めの債券の比率を引き下げる方針です。

○農業関連日本株マザーファンド

農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する国内の株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。

当面は、新興国の所得水準の向上による業績面での恩恵が見込まれる農業関連銘柄などの組入比率を高位とする方針です。

お知らせ

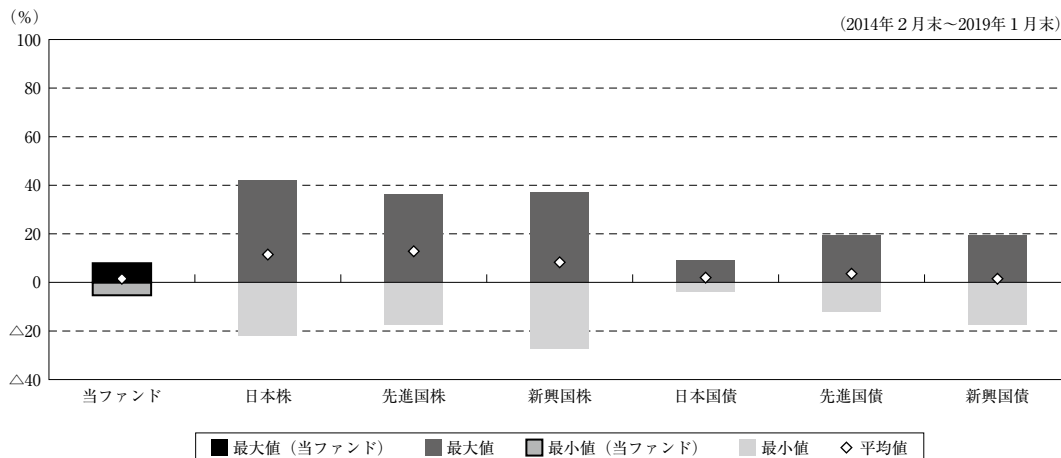
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合		
信託期間	2015年2月23日から2025年2月14日までです。		
運用方針	<p>投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産について、先進国のソブリン債には原則として為替ヘッジを行い、世界の農業に関連する指数には原則として為替ヘッジを行いません。</p>		
主要投資対象	各資産への投資にあたっては、以下の投資信託証券を通じて行います。		
	投資対象資産	投資対象とする投資信託証券	組入比率
	先進国のソブリン債	為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）	60%程度
	農業関連の日本株式	農業関連日本株マザーファンド	40%程度*
世界の農業に関連する指数	上場投資信託証券（ETF）		
※指数に連動することを目指すETFの組入比率は、原則として10%以内とします。			
運用方法	<p>先進国のソブリン債への投資にあたっては、FTSE世界国債インデックス（参考市場を含む）の採用国のうち、取得時において、AAA格相当のソブリン債を投資対象とし、ポートフォリオ全体のデュレーションは原則として8年以内とします。</p> <p>わが国の株式への投資にあたっては、農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。</p> <p>世界の農業に関連する指数への投資にあたっては、原則として世界の農作物等によって構成される指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて行います。ETFの銘柄選定については、実質的な投資対象、ETFの流動性、コスト等を勘案して決定します。</p>		
分配方針	<p>毎年2月14日および8月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>		

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.9	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△5.3	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	1.5	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2016年2月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年2月14日現在)

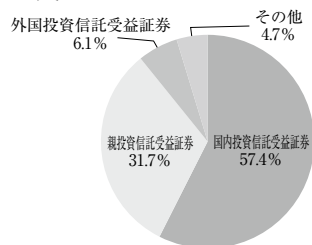
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末 %
為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)	57.4
農業関連日本株マザーファンド	31.7
Invesco DB Agriculture Fund	6.1
組入銘柄数	3銘柄

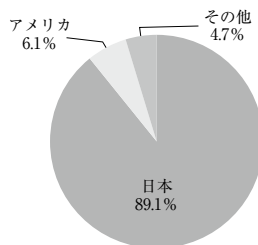
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

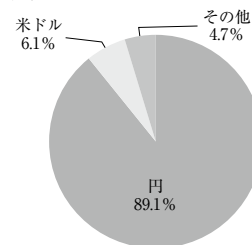
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

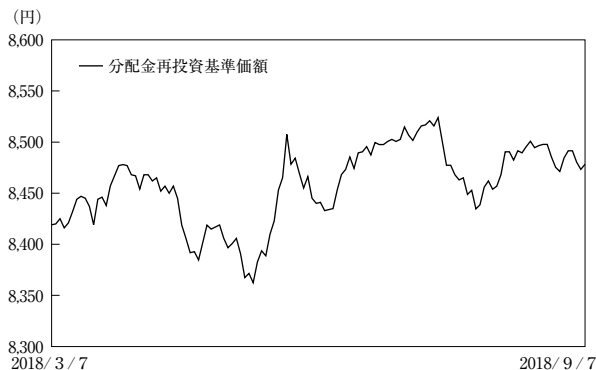
項目	第8期末
	2019年2月14日
純資産総額	914,994,297円
受益権総口数	894,684,642口
1万口当たり基準価額	10,227円

(注) 期中における追加設定元本額は27,199,673円、同解約元本額は68,924,194円です。

組入上位ファンドの概要

為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月8日～2018年9月7日)

項目	第100期～第105期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	9	0.109
（投信会社）	(7)	(0.082)
（販売会社）	(0)	(0.005)
（受託会社）	(2)	(0.022)
(b) その他費用	2	0.020
（保管費用）	(1)	(0.012)
（監査費用）	(1)	(0.007)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	11	0.129

作成期間中の平均基準価額は、8,389円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年9月7日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	DEUTSCHLAND REP 4.75	国債証券	ユーロ	ドイツ	9.2
2	DEUTSCHLAND REP 6.5	国債証券	ユーロ	ドイツ	8.9
3	US TREASURY N/B 6.125	国債証券	米ドル	アメリカ	7.0
4	CANADA-GOV'T 8	国債証券	カナダドル	カナダ	6.1
5	SWEDISH GOVERNMENT 1.5	国債証券	スウェーデン クローナ	スウェー デン	5.8
6	SINGAPORE GOV'T 3.125	国債証券	シンガポ ールドル	シンガ ポール	5.2
7	US TREASURY N/B 8.75	国債証券	米ドル	アメリカ	4.8
8	SWEDISH GOVERNMENT 2.25	国債証券	スウェー デンクロー ナ	スウェー デン	4.7
9	US TREASURY N/B 8	国債証券	米ドル	アメリカ	4.3
10	SWEDISH GOVERNMENT 1	国債証券	スウェー デンクロー ナ	スウェー デン	4.3
組入銘柄数		21銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

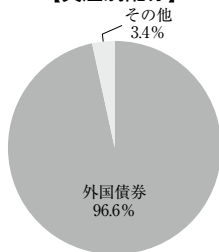
【外国為替予約取引の状況】

(2018年9月7日現在)

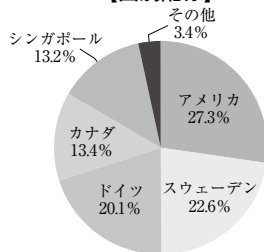
通貨		比率
買い	売り	
日本円	米ドル	26.9%
日本円	スウェーデンクローナ	21.9%
日本円	ユーロ	19.5%
日本円	カナダドル	13.0%
日本円	シンガポールドル	12.8%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する予約外貨評価額の割合です。

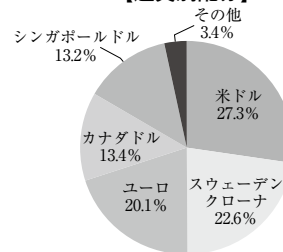
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

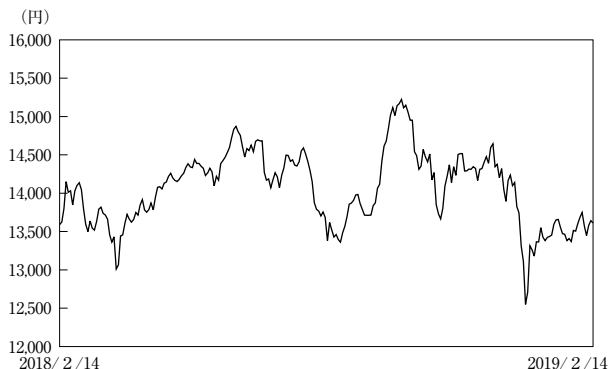
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては組入債券の通貨別比率を表示しております。

組入上位ファンドの概要

農業関連日本株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年2月15日～2019年2月14日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	13 (13)	0.091 (0.091)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	13	0.092

期中の平均基準価額は、14,161円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

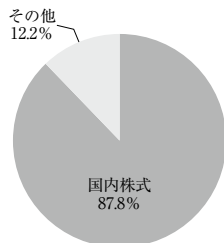
【組入上位10銘柄】

(2019年2月14日現在)

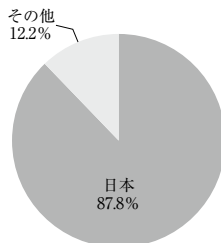
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 サカタのタネ	水産・農林業	円	日本	6.3%
2 クボタ	機械	円	日本	5.7%
3 日本曹達	化学	円	日本	5.1%
4 コメリ	小売業	円	日本	5.1%
5 日清製粉グループ本社	食料品	円	日本	4.7%
6 イオン	小売業	円	日本	4.7%
7 伊藤園	食料品	円	日本	4.4%
8 ハウス食品グループ本社	食料品	円	日本	4.3%
9 宝ホールディングス	食料品	円	日本	4.2%
10 カゴメ	食料品	円	日本	4.0%
組入銘柄数			24銘柄	

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

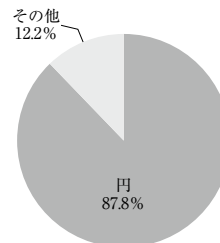
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

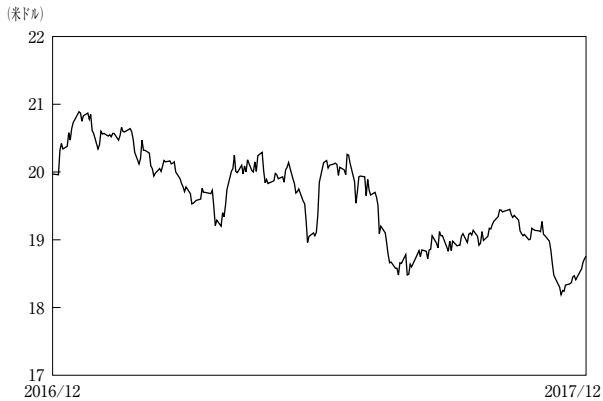
当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

Invesco DB Agriculture Fund

※「PowerShares DB Agriculture Fund」は、2018年6月4日より「Invesco DB Agriculture Fund」に名称変更となりました。Bloombergおよびインベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

当ファンドは外国の取引所に上場しているETFのため、該当データは公表されていません。

【組入上位10銘柄】

(2017年12月31日現在)

	銘柄名	業種/種別	通貨	国(地域)	比率
1	U.S. Treasury Bills, 1.180% due January 4, 2018	国債証券	米ドル	アメリカ	23.4
2	U.S. Treasury Bills, 1.285% due March 1, 2018	国債証券	米ドル	アメリカ	23.2
3	U.S. Treasury Bills, 1.450% due June 7, 2018	国債証券	米ドル	アメリカ	21.2
4	U.S. Treasury Bills, 1.285% due February 22, 2018	国債証券	米ドル	アメリカ	7.5
5	U.S. Treasury Bills, 1.245% due January 18, 2018	国債証券	米ドル	アメリカ	5.0
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		5銘柄			

【先物取引の状況】

(2017年12月31日現在)

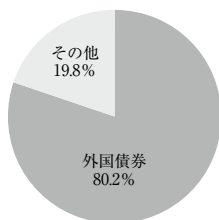
	買建/売建	比率
商品先物	買建	100.0

(注) 比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。

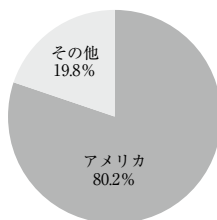
(注) 比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。

(注) 国(地域)につきましては、発行国を表示しております。

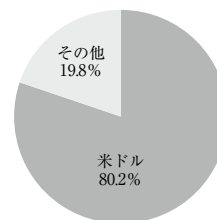
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

参考情報：商品先物の構成比率

(2017年12月31日現在)

品目	比率	品目	比率
	%		%
砂糖	12.9	豚赤身肉	8.9
トウモロコシ	12.6	H R W 小麦 ^(注)	6.2
大豆	12.5	小麦	6.2
生牛	12.2	肥育用素牛	4.0
コーヒー	11.2	綿	3.3
カカオ	9.9	—	—

(注) 比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」のポートフォリオに対する買建額の割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) H R W 小麦は米国のカンザスシティ商品取引所に上場されている硬質赤冬小麦 (Hard Red Winter Wheat) 先物です。

<当ファンドの参考指数について>

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。